

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（8月分）

留学先：マカオ大学

氏名：坂井穂花

約一ヶ月の一時帰国を終え、香港経由で不安はあったものの、無事マカオに戻ってきて残り4ヶ月のマカオ生活が再開しました。マカオのボーダーからバスで大学へ向かっている途中で、オランダのアムステルダムから旅行に来ていた一人の女性と出会いました。その方は、香港から上海へ旅行に行くはずが、中国へ行くためのビザを持っていなかったらしく、香港の空港の方にマカオを勧められ、弾丸でマカオに来ることになったそうです。いきなりだったので、ホテルの手配をしていなかったらしく、おすすめのホテルを質問されました。はじめは、中国語で話しかけられましたが、私が英語でお願いしますと言うと、英語で会話できたので少しびっくりしました（その女性は一見中国人だったので、私も英語が話せるとは思ってもいませんでした）。その時、帰宅ラッシュの時間帯で、バスが渋滞に巻き込まれており、バスの中でお互いに荷物を抱えたままわずかではありますがお話しすることができました。私の知っている安めで評価の良いホテルとそこまでの行き方を説明し、私がどうしてマカオに居るのか、何をしているのかなどを英語で話すことができました。私自身、このような経験は初めてで、マカオで英語が通じて話が弾む人に出会うのは珍しいことなので、とてもうれしかったです。拙い英語でしたが、コミュニケーションが取れて、連絡先は交換しなかったのですが、無事にそ

のホテルに泊まることができたのかはわかりませんが、少しでもお力になれていたらうれしいなと思いました。

このような感じで残りの留学がスタートし、新しいルームメイトは真面目でしっかりした、同い年の日本人になったので安心しました。言語の面では英語を使う場面が減ってはしまいますが、生活リズムは前期とは一転して改善し、早寝早起きができるようになり、不眠に悩まされることはもうなくなりました。基本的な生活の面では、もう困ることはないので、今は非常に勉強に専念できています。今期は授業を二つだけに絞り、独学で中国語の勉強に集中するようにしています。二つの授業は、前期とは全く違う、ビジネス系ではない、国際地域らしい(?) 授業 (Gender and society, Introduction to film という授業です) を取っていて、専門科目と般教に単位交換を狙っています。本当は単位交換関係なく、自分が興味のある授業を取りたかったのですが、抽選漏れや、今期の目標である、中国語の勉強 (11月の中国語検定に向けているのですが、そこで止まらず、話せるように、将来、仕事で少し使えるようになりたいとまで考えております) のこともあり、結果的に単位交換を狙った授業二つのみになりました。

中国語を留学前から数えて1年以上勉強しているとはいえど、マカオで中国人観光客の方に道を聞かれても答えることができないほど、まだまだなので、インプットとアウトプットをバランスよく勉強して、留学が終わる頃には少しでも変わった自分になります。今は、タピオカ店やスーパーなど、決まったことしか言う必要のない場面では全部

中国語で話せるようになりましたが、カフェ・レストランなどでの臨機応変さ、応用力が皆無で、英語で逃げてしまうので、残りの時間でその力を身につけようと考えています。

あくまでも中国語の上達を目標としている今期なので、できるだけ他の日本人とは関割らないようにしようかと考えています(ルームメイトや前期から同じタイミングで留学している子たちとは仲良くします汗)。遊びはほどほどに、目標を常に念頭に置いた生活を送って行きます。

写真がまるで内容と関係なくてすみません。



↑私の大好きなカレー牛筋



↑ポルトガル植民地時代の名残あるカフェ